

牛久：学校周辺に見る自然

第16号 みずべ公園

2016年9月5日発行

＜ 夏の終わりに、みずべ公園を歩く ～ ③ 鳥 ＞

9/1に歩いたみずべ公園、今回は鳥。



みずべ公園に行くと、たいていいつも出迎えてくれるカワウ。岩の上で羽を広げ、乾かすようすもよく見かける。

池に向かって坂を降りて行くと、いつものようにカワウが岩の上で出迎えてくれました。まるで、「しばらく見なかったけど、元気にしてたかい？」とでも言ってるようでした。



左のカモは・・・、もう覚えてくれたでしょうか？黒いくちばしで先端が黄色。顔に目のところとくちばしのつけ根下側から、横に黒い線。水にかくれて見にくいですが、足はオレンジ色。そして一年中この辺にいるカモ。そうカルガモです。カワウやカルガモのように、渡りをせず、一年中同じところにすんでいる鳥を「留鳥（りゅうちょう）」といいます。カルガモは草の種などをよく食べるようですが、昆虫や魚を食べることもあるそうです。

下のハクセキレイも留鳥。よく地上を歩きながら、えさの昆虫などを探しているようすを見かけます。

【理科支援員：宮内】



こちらもおなじみのカルガモ（左）とハクセキレイ（右）。